

令和6年度第1回飯田市自殺対策推進協議会 議事録（概要）

■開催日時：令和6年12月11日（水） 15時30分～17時15分

■開催場所：飯田市役所本庁C棟3階 C311～313 会議室

■出席者：飯田市自殺対策推進協議会会長（市長）

飯田市自殺対策推進協議会委員 11名

飯田市自殺対策庁内委員 12名

事務局 10名

■講師：長野県精神保健福祉センター 荻澤 歩 氏

司会：宮嶋保健課長

1 開会

2 会長挨拶（佐藤 健 市長）

皆さん、こんにちは。本日は今年度第1回目の飯田市自殺対策推進協議会ということで、年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、皆様にはそれぞれのお立場で自殺者を一人でも少なくするための取り組みにご尽力いただき感謝申し上げます。

今年の2月、年度としては昨年度となりますが、第二次の飯田市自殺対策推進計画を策定し、今年度は実行初年度となります。後ほど報告があると思いますが、現在の飯田市の自殺者の状況というのは、3年平均で令和3年からずっと人数が増え続けている状況で、私としましては非常に深刻な状況にあると捉えています。

昨年の協議会の議論において、自殺の未遂者に関する情報共有の在り方、支援の在り方が議論として取り上げられ、その中で例えば個人情報の取扱い方について法的な課題があるかもしれないという意見が出て、そういう議論をしたところです。この後、自殺未遂者支援について長野県精神保健福祉センターの荻澤歩さんからお話をさせていただくことになっております。本日はお忙しいところお越しいただきありがとうございます。荻澤さんのお話をお聞きした後にグループワークという形でどういう連携体制が必要かという議論をしていただくのが本日の協議会の内容となっています。なかなか難しい課題ですが、難しいと言っているだけでは進まないもので、是非いろいろご意見を頂いて、またそれを事務局の方で引き取って進めていけたらと思っております。本日はよろしくお願いいたします。

3 任命書交付

令和6年3月31日に前委員の任期満了に伴い、新たに選任された全委員15名に交付

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日の2年間

※資料1の名簿の15名

4 協議事項

(1)議長副議長選出

議 長：原 重一 委員

副議長：湯浅 貴子 委員

議 長 議長に選任されました原重一です。

社会福祉協議会の立場でこのメンバーの仲間入りをさせてもらっていますが、一言ご挨拶させていただきます。社会福祉協議会はその名前のとおり福祉の職場であり、飯田市とも連携して様々な悩みごとの相談を受け付けています。年間延べ3～4万件の相談を十数名の相談員で対応しています。思いますところは、本日の会議の資料をみるだけで、飯田市では自殺関連事業が138本もある。こんなに沢山の施策を講じ、沢山の予算も投じているのに、どうしてこんな状態になるまで社協職員のところにまで話が届かなかったんだらうという悩みごとを抱えてぎりぎりの状態になっている方が沢山います。その先に市長もおっしゃったように自死してしまう方がいらっしゃるそういう現状を苦しく思っているわけです。こうした現状を少しでも良い方向に一步でも進められるよう、この会議の座長として頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

副議長 副議長に選任されました湯浅貴子と申します。高等学校の養護教諭研究会、飯田 OIDE 長姫高等学校に勤めております。議長をサポートして進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(2)飯田市自殺対策推進計画進捗報告について（事務局）

※資料No.3・4・5 配布

質疑なし

(3)飯田市における自殺の現状・自殺未遂者支援について（事務局）

※資料No.6・7 配布

質疑なし

(4)講義 「自殺未遂者支援について」

講師 長野県精神保健福祉センター 荻澤 歩 氏

(5)グループワーク

テーマ：自殺未遂者支援についての課題と今後取り組むことができそうなこと

(6)発表及び講評

講 師（荻澤歩氏） グループワークお疲れ様でした。皆さん本当に熱心にご議論されていました。各グループからの報告にもありましたように、同意が得られない方の支援は本当に難しいので、まずはできるところからやっていくということで、少なくともまずは同意が得られた方の支援はスムー

ズにできるようにしていかななくてはいけないと思います。ただ、そもそも同意をとろうとすること自体がどこかに連携する意識があるということなので、まずはその意識を持っていただくということがそもそもの入り口になります。その上で、同意を得られた人をどう繋ぐのか、どのように連携するのかということを詰めて方向性を出していただければと思います。ただ、もちろん詰めていくにあたっては、お互いにそれなりの関係性がないと繋ごうとは思えないので、自殺対策以外でも普段から連携をしっかりとしていくことも大切になってきますし、もし上手くいった事例があればフィードバックしていけるとよいかなと思います。今日出た意見を着実にやるだけでもだいぶ違うと思いますので、一つでも構わないので来年の協議会をやる時に本日の議論のこれがここまで進みましたということが共有できれば良いのかなと思いました。本日はありがとうございました。

会 長（佐藤市長） 本日は熱い議論をありがとうございました。また、荻澤さんには我々を導き、参考となるコメントもありがとうございました。今、荻澤さんが仰ったように一歩でも前に進めていくこと、それを毎年毎年積み重ねてちょっとでも良くなっていくことが大事なのだと思います。飯田市の場合はまだフローチャートも無いという状況なので、今後作成をよろしくお願いしたいと思っています。

それから、先ほど事務局からの報告の中で、飯田市の特徴として50代男性の自殺者が多いという話が出てきました。働き盛り世代の方にアプローチをしっかりとしないとこの状況が変わらないので、先ほど金融機関に相談先のパンフレットを置くという話が出ていましたが、なるほどという思いながら聞いていました。金融機関の方に共有するだけでも、もしかしたら変わるかもしれない、飯田市の特徴としてどこからどういう形で情報を共有して飯田市ならではの取組みに繋げていけるかを考えなくてはいけないと思って聞いていました。

非常に有意義なグループワークでした。これが聞きっぱなしやりっ放しにならないように、まさに荻澤さんが仰ったように、来年の協議会の時にはこう進みましたという報告ができるようにしっかり取り組めればと思っています。本日はありがとうございました。

（7）議長解任

議 長 皆さん、ご協力をありがとうございました。一言、私の感想を申し上げますと、連携という言葉がありました。もう少しそれを掘り返していくと、縦割りの壁を超えること、守備範囲の壁を超えること、法律の壁を超えることという風に私は感じました。ありがとうございました。

副議長 今日はありがとうございました。今いる場所でできることを一生懸命やらせていただきたいと思います。今後どうぞよろしくお願いいたします。

5 閉会（山崎こども未来健康部長）

皆さま、長時間にわたり有意義なグループワークをありがとうございました。市長も仰っていましたが、少しでも一歩前に計画を進めていくことができるように今後ともご協力をお願いいたします。本日はお疲れ様でした。